

計測①

計測②

心臓 副腎 自律神経 大脳
 まだ残っては 他臓器ほど よくなっている よくなっている
 いるが黒が格 ではないが、
 段に減少 よくなっている

メタトロンとは

「臓器組織はそれぞれ固有の振動数をもつ」という理論に基づき、人体の周波数を測定・分析することによって生体エネルギーのバランスを見るロシア製の測定機器。医療の補助機器としてクリニックや鍼灸院等で使われている。

計測対象

- 被験者1名 (50代・女性)

計測内容

計測①

「ChieArtの作品を観賞 + 光の瞑想CDを使って瞑想 (ショートバージョン)」

計測②

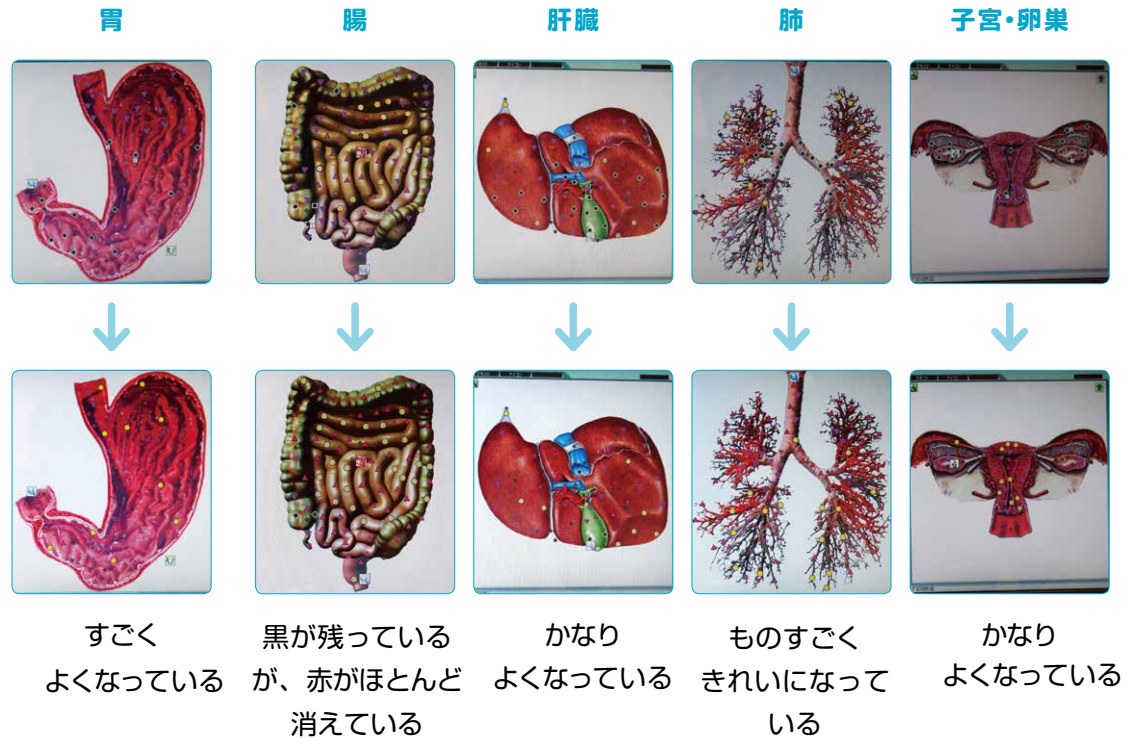
画像に示されるマークの意味

- 黄色の六角形 = 良好 (最良の状態)
- ▲ オレンジの三角形 = 良好 (普通)
- ▼ 赤の逆三角形 = やや不良 (弱い箇所がある)
- ◆ 茶のダイヤモンド = 不良 (適応能力減少)

② メタトロンで 生体エネルギーの変化をみる

所見

黒と赤がだいぶとれて、相当よくなっています。メタロンの計測結果だけで見れば、これはかなり強力ですね。周波数の改善効果がありそうだと思います。ということは、予防医学につながるかもしれません。ただし、周波数は単に状態を表しているだけであって、病状を示しているわけではないので、瞑想CDを使ったからといって病気が治るものではないことはちゃんと認識しておく必要があります。たとえば病気の人を使うのなら毎日やる必要があるだろうし、食事や生活習慣の改善など他でやれることをちゃんとやらないと根本的な治癒は望めません。瞑想で周波数が改善しても、他の要素で悪い周波数が入っていれば焼け石に水ですから。そのところを勘違いしないで取り入れるなら、効果ありだと思います。



1974年、兵庫県生まれ。筑波大学医学部卒業後、勤務医を経て牛久東洋医学クリニックを開業するが、医原病を作る医学の現実を痛感し、2013年、Tokyo DD ClinicとNPO法人「薬害研究センター」を開設。2017年3月時点Facebookのフォロワー数は約14万人、実質Facebookで日本一の知名度を誇る。著書は『巨悪の正体』（きこ書房）、『歴史の真相と、大麻の正体』（三五館）、『「強い体」をつくる食べ方』（あさ出版）など30冊を超え、全国で精力的に講演活動も行う。

【Tokyo DD Clinic院長】
うつみ さとる
内海 聡 先生



計測にご協力
いただいた方